



金森事業部

〒194-0015
東京都町田市金森東3丁目18-16
TEL:042-799-2144

輝の杜事業部

〒246-0008
神奈川県横浜市瀬谷区五貫目町10-38
TEL:045-920-0840

鶴の苑事業部

〒194-0005
東京都町田市南町田5丁目3-28
TEL:042-788-0544

合掌苑
統合報告書 2025





胸の奥で静かに燃える灯火は、
私たちの理念となり、
日々の行動を照らしています。

その光に寄り添う心は、
おもてなしや心遣いに表れ、
お客さまの幸せと笑顔を願う
あたたかなカタチとなります。

守るべきものは、大切に。
変えるべきものは、未来のために。
そして、新しい挑戦を恐れることなく。

私たちは、これからもこの地で歩みを進めていきます。

わたしたちの想いが、
あたたかなカタチとなって、
あなたの笑顔へとつながっていきますように。



Smiles and Dreams,
Together Here.

Be Yourself.
Shine Here.

職員と お客さまの 笑顔と夢を 叶える場所。

合掌苑の歩みは、昭和20年、東京大空襲で家を失った人々を、寺で受け入れたことから始まりました。

創業者は、生涯をかけてお客さまの暮らしを支え続け、その想いは今も私たちの原点となっています。

この創業の想いは、今でも職員一人ひとりの行動指針として息づき、日々の支援の中に深く根付いています。

これからの合掌苑は、すべての世代が気軽に集える多世代交流の居場所を創り、人と人とのつながりを通じて地域の幸せに貢献してまいります。

介護においては、「楽ワザ介護」を推進し、お客さまが「諦めていたこと」を「できる」に変える支援をおこない、夢の実現と尊厳を大切に続けていきます。

合掌苑
統合報告書想いのカタチ 1
トップメッセージ

2050年の私たちが目指すもの

町田市周辺エリアは今後緩やかに人口が減少し、特に生産年齢人口は30%も減少していきます。

その中において85歳以上の高齢者人口は特に団塊世代が85歳を超えていく2035年までの10年において1.5倍から1.9倍も増加していきます。

そして日本社会は生産年齢人口の減少により供給制約社会へとなっていきます。

日本は未曾有の人手不足社会へと変貌していくのです。

その中において、私たちは町田市南地区の中核的存在として地域を支え続けていきます。

そのために私たちは2050年に向けて次のことを実現していきます。

- ① 高齢者支援センター・障がい者支援センターを中心とした全世代対応型総合相談窓口の実現
- ② 地域のボランティア団体と連携した地域サービスの創出
- ③ 多様な働き方を実現し、地域を支える人財を育成する
- ④ 既存施設を活用した子ども第三の居場所づくり
- ⑤ 25大雇用の促進

社会福祉法人 合掌苑
理事長 森 一成



CONTENTS

1. トップメッセージ	03
2. 組織統治	05
3. 人権	07
4. 労働慣行	09
5. 環境	13
6. 公正な事業慣行	13
7. 消費者課題	14
8. コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	15
9. 財務ハイライト	16
10. 価値創造の木	17

本報告書は2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の実績を掲載しています。

組織統治

私たちの「想いのカタチ」は、
日々のケアだけでなく、
健全で透明な経営のしくみにも根づいています。

基本的な考え方

合掌苑は、経営使命「関わる全ての人を幸せにする」「社会福祉法人としての社会的責任を果たす」に基づいて健全な経営体制を構築し、経営の透明性・健全性・適法性の確保、迅速かつ適切な情報開示等を実践していきます。

コーポレート・ガバナンスの方針

合掌苑は、「新しい公共」の中心的存在の法人として、地域における地域包括ケアを実現していくことを経営の重要課題としています。その実現のためには、国・地方自治体・地域社会・お客様・取引業者・金融機関・医療機関・地域の同業他社等のステークホルダーと協調し、社会福祉法人としての社会的責任を果たすことを経営の根幹としています。

推進体制・仕組み

経営計画書を作成し、それを職員全員に配布して方針の徹底を図っています。地域からの付託に応えられる組織づくりをし、お客様と「喜びの共有」を果たし、それを「安定した経営基盤」につなげていくというものです。

理事会の経営力強化

社会福祉法人としての経営力強化のため、理事会の構成を理事長1名、常務理事1名、常勤理事2名、外部理事2名、及び監事2名としています。

また、年3回開催の理事会の決定を補佐するために理事長と常務理事及び常勤理事による常任理事会を毎月開催し、経営の意思決定をおこなうとともに、理事長の専決によらないコーポレート・ガバナンスを実現しています。

特定社会福祉法人への取り組み

2017年度より収支30億円以上の社会福祉法人は公認会計士による外部監査が義務付けられました。当法人は該当いたしません。2017年度より特定社会福祉法人となるべく公認会計士の選定をおこない、定款も外部監査人を入れ、2017年度より特定社会福祉法人として認可されています。

決算の公開

決算終了後すみやかに決算資料および現況報告書をホームページで公開しています。

リスクマネジメント

経営計画書に「企業倫理に関する方針」「個人情報保護に関する方針」「クレーム・事故に関する方針」「決算に関する方針」を定めるとともに、個人情報保護方針及び個人情報保護に関する諸規定を定め、担当者を決めて対応しています。

■ BCP(事業継続計画)によるリスク管理

経営計画書において「BCPに関する方針」を定め、BCP計画の周知徹底を図るとともに、BCP訓練を実施し、大規模災害への教育を重ね、事業を継続する力を強化しています。

■ 情報セキュリティの強化

取り扱うすべての情報の資産価値を認識し、情報の適切な保護・管理に努め、情報セキュリティの強化を図っています。また、個人情報保護方針を定め、保有する個人情報は適切に取り扱い、厳重に管理しています。

社会貢献への取り組み

社会福祉法人は地域への社会貢献活動をおこなうことを目的とする法人であるとの認識のもと、コンプライアンス重視の経営をおこなうとともに、経営計画書に「社会貢献に関する方針」を定め、私たちの活動すべてがCSRとなることを理解し活動しています。また、制度によらない社会貢献活動をおこなうため、収支差額の25%を地域福祉支援積立金に計上して社会貢献活動の原資としています。

(1) 地域に役立つ事業への支出	
・ プリス金森台へ入居する生活困窮者への家賃補助	4,288,020円
・ ユニバーサル就労対象者の賃金の財源	5,210,494円
・ 南成瀬あんしんサロンの運営費	184,905円
(2) 地域の団体等への助成	
・ 自助活動団体への助成	800,000円
合 計	10,483,419円

2024年度に以下のような活動をおこない、ステークホルダーとのコミュニケーションを深めました。

- 家族懇談会の実施 (各事業部で年2回)
- お客様アンケート調査 (全事業所で年1回)
- ビジネスパートナー評価 (年1回)
- 自助活動団体の活動報告 (年1回)
- 経営計画発表会の開催 (年1回)

情報開示

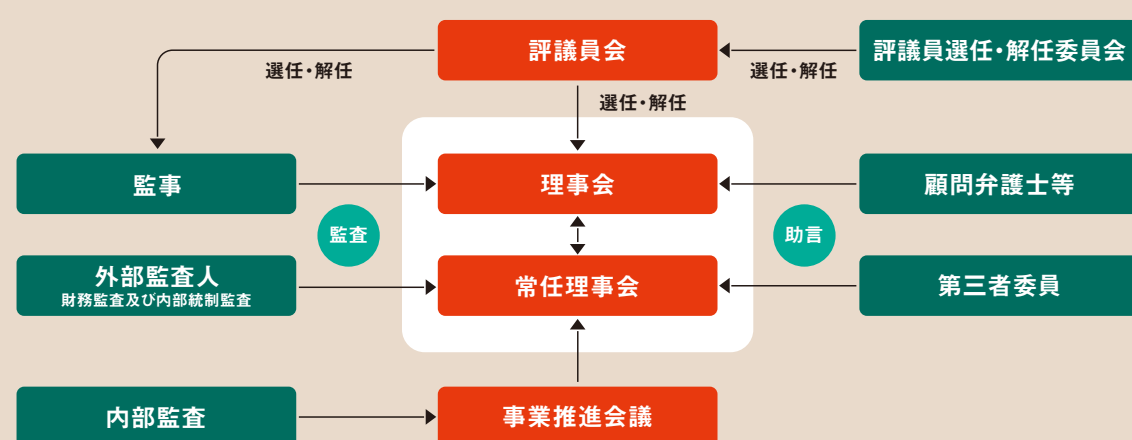
法人の経営や活動の状況を広くステークホルダーに開示していくことが重要な責任の一つと考え、積極的な情報開示により経営の健全性・透明性を常に高めるよう努めています。

DATA			
理事会の開催状況			
開催日	報告事項	議決事項	出席者
2024/6/7	1.理事長および業務執行理事の職務の執行状況について 2.令和5年度事業報告について	1.令和5年度決算報告および監事報告について 2.定時評議員会の開催について 3.鶴の苑定期建物賃貸借契約書の締結について	理事6名 監事2名
2024/12/19	1.理事長および業務執行理事の職務の執行状況について	1.令和6年度第一次補正予算案について	理事5名 監事2名
2025/3/27	1.理事長および業務執行理事の職務の執行状況について	1.令和6年度第2次補正予算案について 2.令和7年度事業計画案について 3.令和7年度当初予算案について	理事6名 監事2名

評議員会の開催状況

開催日	報告事項	議決事項	出席者
2024/6/25	1.理事会の審議内容 2.令和5年度 事業報告	1.令和5年度決算報告および監査報告	理事長 常務理事 業務執行理事2名 評議員7名 監事2名

コーポレート・ガバナンス体制



人権

想いをカタチにすること——
それは一人ひとりの尊厳を守ること。
私たちは日々、その実践を重ねています。

基本的な考え方

合掌苑は、性別、年齢、民族、人種、宗教、信条等による差別をせず、基本的人権を尊重して、事業活動を推進していきます。

人権尊重への取り組み

人権尊重は社会の基本ルールです。合掌苑では、法令等を尊重するほか、上記の通り基本的人権の尊重についての考え方を定め、合掌苑フィロソフィーとして行動規範と行動基準を策定しています。これらを事業の指針とするとともに、各ハラスメントの根絶や、性別、年齢、民族、人種、宗教、信条等による差別の廃絶など、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。

■ テラ・ルネッサンス

テラ・ルネッサンスは、地雷、小型武器、子供兵、平和教育という4つの課題に対して、現場での国際協力と同時に、国内での啓発・提言活動をおこなっている団体です。合掌苑はテラ・ルネッサンスの法人会員として支援しています。

■ 赤い羽根共同募金

社会福祉法人中央共同募金会がおこなっている赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの地域の福祉活動の支援や災害時の「災害ボランティアセンター」の設置・運営などに使用される資金を募る取り組みです。合掌苑では毎年10月1日に職員が街頭に立ち、募金活動をおこなっています。2024年度も街頭募金活動を10月1日に町田駅構内でおこない、12月末までは法人内で募金活動を実施いたしました。募金総額は、61,220円となりました。

■ 被災地支援プロジェクト

職員の有志による被災地支援プロジェクトを立ち上げ、活動を支援しています。被災地支援プロジェクトでは街頭での募金活動、被災地でのボランティア活動、地域での啓蒙活動などをおこなっています。2024年度は1月1日に発生した能登半島地震に東社協を通じて介護職員派遣をおこなっています。(延べ11名)

■ 人を大切にする経営学会

「人をトコトン大切にしている企業こそが、好不況にぶれず好業績」、「人を大切にする企業経営の普及」を目的とする学会に賛同し入会しており、働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。



2024年 赤い羽根共同募金の様子

安全への取り組み

■ HACCPへの取り組み

2016年3月15日の昼食を原因として発生した食中毒事故において、57名ものノロウイルス感染者を出してしまったことを合掌苑は厳粛に受け止め、二度とこのような事故を起こさないという決意のもと、経営計画書に「食の安全確保に関する方針」を定め、2016年5月よりHACCPプロジェクトを立ち上げ、現在は「食の安全衛生会議」を毎月開催し、法人全体で取り組んでいます。

■ BCPへの取り組み

経営報告書に「BCPに関する方針」を定め、事業継続の体制づくりをするとともに、地域の災害拠点としての備蓄などをおこない、地元の自治会との合同訓練などをおこなっています。

■ 福祉施設非常備蓄品等助け合いネットワーク

東日本と西日本の福祉施設43施設が加盟する通称「お助けネット」に加盟しており、被災時にはお互いが可能な範囲内で物的・人的な応援をおこなうことを協定しています。2024年度は7月19日(金)に東日本お助けネット総会を鶴の苑コミュニティ棟で開催し、福祉楽団飯田理事長に講演いただきました。

Pick Up!

被災地支援チームの活動成果



2024年度は能登半島地震への支援活動として、介護職員の派遣(延べ11名)、大雨災害への募金(57,000円)を実施しています。合掌苑災害派遣福祉チーム(GDWAT)の立ち上げをおこない、継続的な支援活動の場も作っています。また、映画鑑賞会、被災地支援映画会、3事業部合同募金、うまいもの取り寄せ企画、コンパ、被災地支援ツアー、卓球大会などを実施いたしました。その活動の参加費の一部をテラ・ルネッサンスを通じて大槌刺し子に寄付しています。(85,000円)
今年度もスポーツ交流やオンライン交流会(大槌刺し子)等多くの方との関わりの中で、チーム活動をおこなってまいります。



想いのカタチ 4

労働慣行

想いをカタチにして、
誰もが安心して続けられる
働き方を私たちは実現します。

基本的な考え方

合掌苑では創業以来、創業者の市原秀翁師の4つの指針を合掌苑の心としてきました。

- 1. 人間大好き
- 2. 笑顔を絶やさずに
- 3. 感謝の気持ちを持つ
- 4. 食生活を大切にする

お互いがお互いを大切にする組織風土のもと、職員同士が切磋琢磨することで個人の能力・スキルを高め、また職員一人ひとりの労働意欲を高める環境づくりをおこなってきました。今後も職場環境の整備と職員の働く意欲、能力向上のための取り組みを推進し、ライフ・ワーク・バランスを考えて人生を充実させることができる職場を目指します。
また今後は人財確保が難しくなることを鑑みて、いろいろな人が働けるダイバーシティ(多様性)を重視した職場環境を構築し、人財の確保に努めています。

多様性を尊重した働き方と職場づくり

さまざまな人が働きやすく働きがいを持って仕事に取り組める職場環境づくりに取り組んでいます。

働きづらさを抱えている方々への取り組み

働きづらさを抱えている人が気持ちよく働ける職場こそが働きやすい職場であるとの認識のもと「25大雇用」を定め、業務切り出しをおこない、柔軟に採用することができるよう業務改善を実施しています。

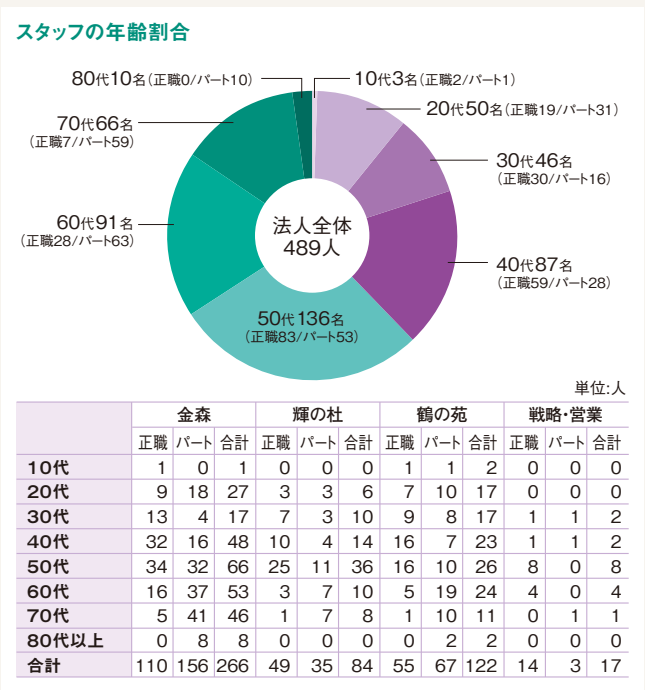
ユニバーサル就労					単位:人
	雇用	通勤・ター	実習	合計	
身体障がい	3			3	
知的障がい	10			10	
精神障がい	7			7	
うつ	0			0	
難病	1			1	
その他	2	1		3	
合計	23	1	0	24	
うち手帳保持者数(再掲)	19	0	0	19	
その他手帳保持者数	4				
障がい者雇用率	4.46				
ユニバーサル雇用率	6.74				

就労訓練事業(いわゆる中間的就労)

町田市第1号の就労訓練事業所として東京都から指定を受け、就労訓練事業を実施しています。現在は行政窓口の他、就労支援団体からも実習生、非雇用型訓練、支援付雇用など受け入れをおこない、様々なスタイルで就労を支援しています。

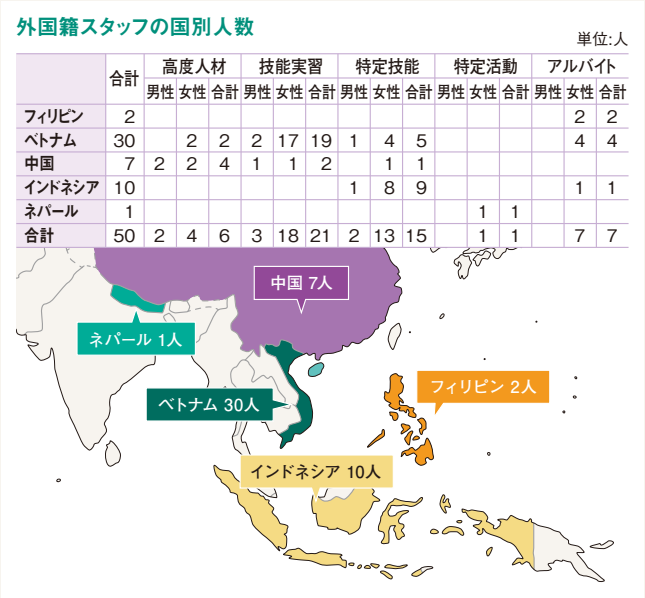
定年制の廃止

定年制を廃止し、従前の嘱託職員や非常勤職員を正職員化した準職員制度を再構築して、長年培ったスキルでの活躍を推奨します。



グローバル人財の雇用

外国籍人財導入は火急の問題です。今後も技能実習、特定技能等での雇用を進め、グローバル人財活用の体制づくりを進めます。

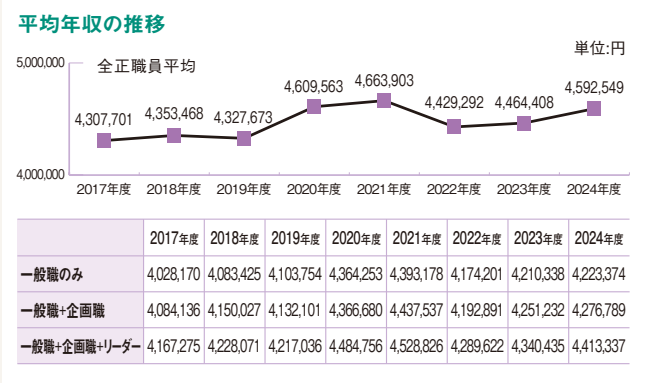


働きやすい職場環境への取り組み

職場環境の問題及び改善策を検討し、より良い職場環境構築のため、組織風土チームを各事業部に設置しています。そのチームではサンクスカード、スタッフストーリー、コンパなど組織風土を良くする取り組みを支援し、毎月話し合いをおこない、問題点があれば改善をおこなっています。また、毎年2回全職員を対象に職員満足度調査を実施し、実施結果はプロジェクトチームを通じて分析・改善をおこない、法人全体の問題については経営品質向上会議、常任理事会、理事会に上程して、人事制度の見直しや職場環境改善に役立てています。

処遇改善への取り組み

職員の賃金に対する処遇改善について、介護職員処遇改善加算(Ⅰ)を算定し、全産業平均に比べ低いと言われる介護職員の給与向上に努めています。また介護職員だけではなく、その他の職種についても介護職員に準じた処遇改善をおこなっています。



多様な人財育成とキャリア形成

職員を最も大切な財産と考え、人財育成に力を入れています。理念研修や委員会活動を通じて、職員の人間性と専門性の向上を図っています。年齢や学歴に関わらず、平等なキャリア形成の機会を提供し、非常勤から正規職員への登用も積極的におこなっています。さらに、介護福祉士などの資格取得支援も充実させています。

理念研修

仕事のやり方の基本は「法人の理念」であると考えています。そのためフィロソフィー手帳を作成し、全職員に配布。毎日のCommitment to Qualityや毎月の誕生日研修、心の栄養などを用いて、常に職員が理念について振り返り考える機会を設定しています。

委員会活動

法人全体を網羅する共通委員会を「人財育成」の観点から以下5つの委員会へ再編成しました。

- 1. 生活再建委員会A: 身体的ケア
- 2. 生活再建委員会B: 認知症ケア
- 3. 感染症対策委員会
- 4. 身体拘束・虐待防止委員会
- 5. リスクマネジメント委員会(BCP)

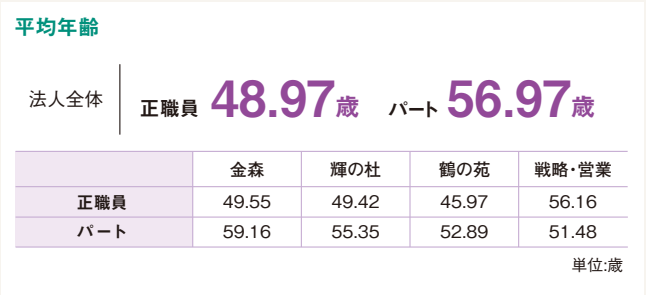
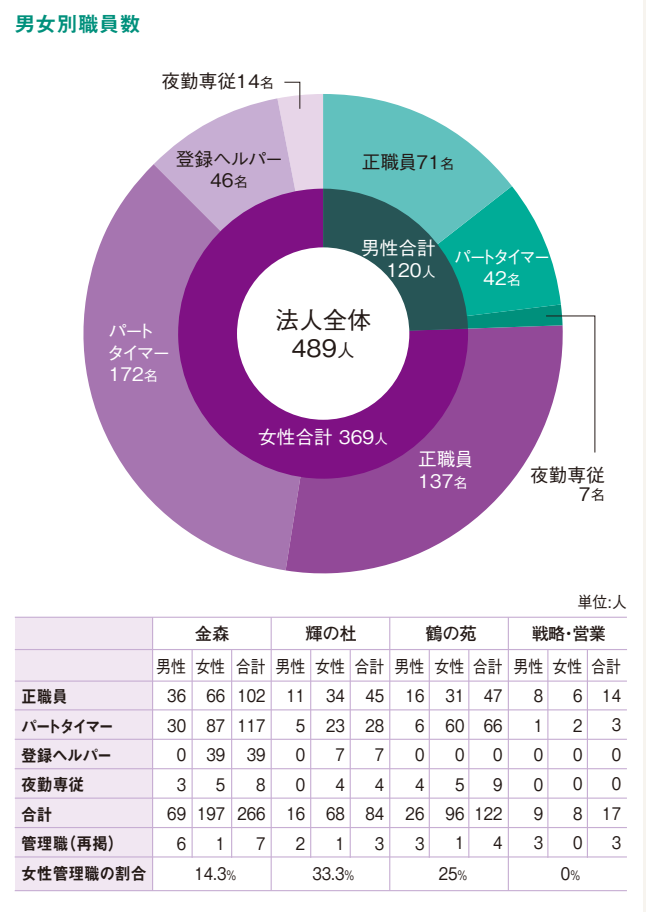
共通委員会ではそれぞれのテーマごとにスキルアップ研修会を実施し、職員のスキルアップを図ります。

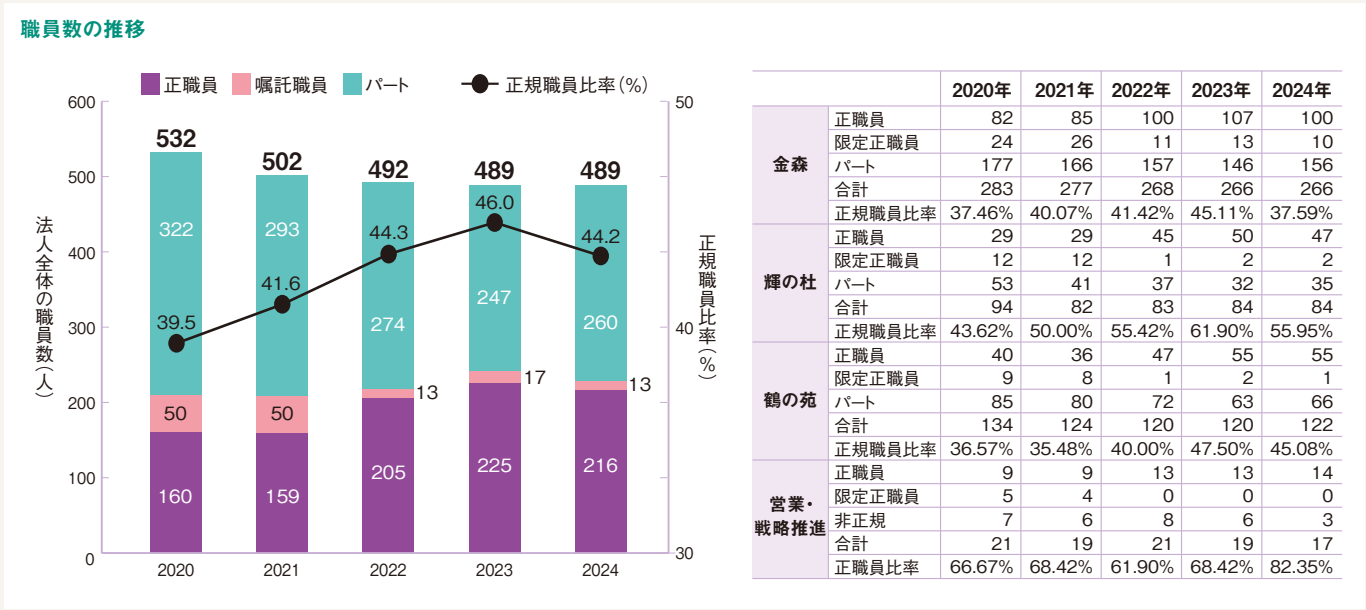
チーム活動

3つの事業部毎に2つのチームを設置しています。環境整備、組織風土のテーマに沿った活動をおこない職員の育成に努めています。また優れた活動をおこなった人には社内表彰をおこない、職員のモチベーション向上にも役立てています。

平等な機会、納得感の高い評価

年齢、学歴、性別等に左右されることなく、平等な機会が与えられ多様な職場の経験を通してキャリア形成を図っています。非常勤職員から正規職員への登用も積極的におこなっており、正規職員比率をあげるよう努力しています。評価においては、職員の行動・業績を自己評価した結果をベースに、上司との評価面談によるすり合わせをおこない、納得感を高めています。

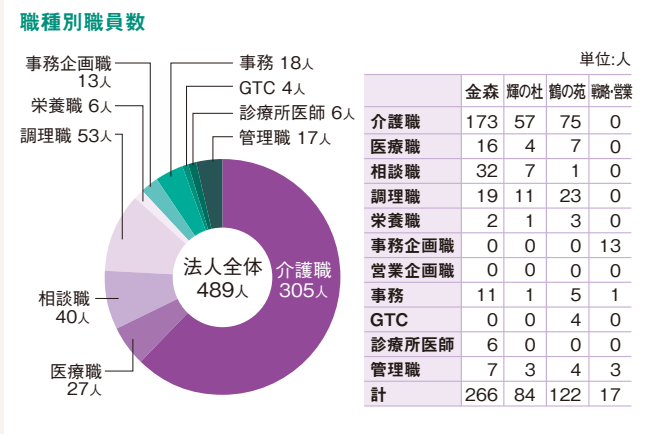




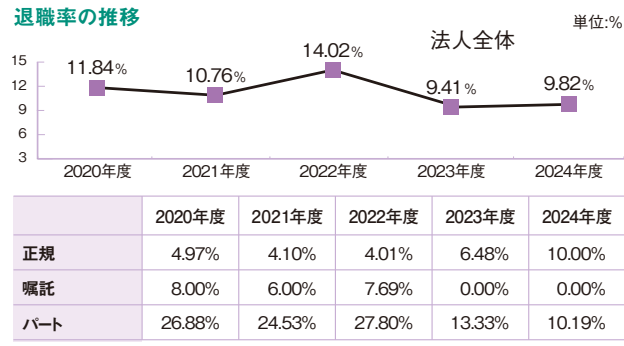
■ 資格取得支援

介護支援専門員、介護福祉士、介護職員初任者研修については、受験日を職務免除とする、受験費用の補助などをおこなって資格の取得を支援しています。

また、介護福祉士の資格取得者には10万円、介護職員初任者研修の資格取得者には5万円を上限に受講費支援を実施しています。2024年度には介護福祉士2名に資格取得支援をおこないました。介護職員初任者研修の資格取得支援は2名でした。



		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
金森	正職員	82	85	100	107	100
	限定正職員	24	26	11	13	10
	パート	177	166	157	146	156
	合計	283	277	268	266	266
	正規職員比率	37.46%	40.07%	41.42%	45.11%	37.59%
輝の杜	正職員	29	29	45	50	47
	限定正職員	12	12	1	2	2
	パート	53	41	37	32	35
	合計	94	82	83	84	84
	正規職員比率	43.62%	50.00%	55.42%	61.90%	55.95%
鶴の苑	正職員	40	36	47	55	55
	限定正職員	9	8	1	2	1
	パート	85	80	72	63	66
	合計	134	124	120	120	122
	正規職員比率	36.57%	35.48%	40.00%	47.50%	45.08%
営業・戦略推進	正職員	9	9	13	13	14
	限定正職員	5	4	0	0	0
	非正規	7	6	8	6	3
	合計	21	19	21	19	17
	正職員比率	66.67%	68.42%	61.90%	68.42%	82.35%



資格保有者の人数(延べ)

	正職員	パート	合 計		正職員	パート	合 計
介護福祉士	148	56	204	看護師	16	8	24
介護支援専門員	39	2	41	保健師	0	1	1
主任介護支援専門員	7	0	7	理学療法士	0	0	0
社会福祉士	23	1	24	作業療法士	0	1	1
栄養士	3	3	6	言語聴覚士	0	2	2
管理栄養士	1	1	2	マッサージ師	1	0	1
調理師	5	6	11				

ライフ・ワーク・バランスの推進

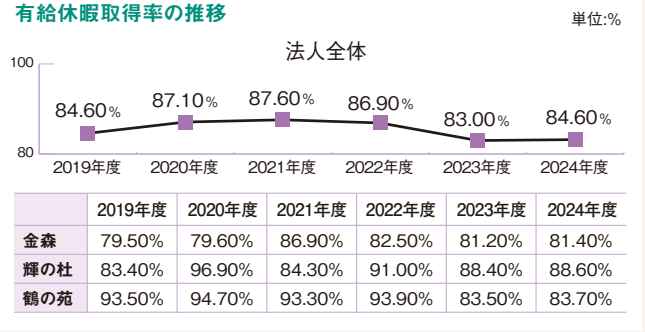
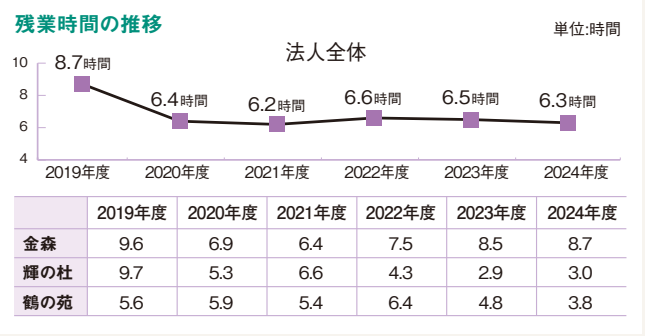
職員の生活の充実こそが仕事の充実には不可欠であると考えています。誰もが働きやすい職場づくりに向けた環境整備や各種制度の拡充を図っています。

■ 次世代育成支援

職員の育児休業取得について、すべての職員が積極的な制度活用が図れるよう行動計画を定め、着実に実施してきました。その結果、2016年7月1日に次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主の認定を受けました。

■ 労働時間短縮への取り組み

有給休暇取得率向上、残業時間の短縮、フレックスタイム制度（以下F.T制度）導入、1日の所定労働時間の短縮をしています。長期休暇の取得奨励策として特別休暇に8日間のリフレッシュ休暇を創設し、10日間以上の長期連続休暇を取ることを奨励しています。また個人で残業時間の目標を設定し日次管理をおこない、相談職にはF.T制度を導入し柔軟な時間管理を可能にしています。F.T制度が導入できない介護現場は1日の所定労働時間を7時間15分に短縮する試みをおこなっています。



■ 育児短時間勤務制度

育児で短時間勤務を希望する職員には、1日6時間まで勤務時間の短縮が可能となっています。短時間勤務も全員一律ではなく、個人の事情に合わせて柔軟な時間短縮が可能です。

産前産後・育児休業・育児短時間取得者数							
	産前産後休業	育児休業			育児短時間		
		男性	女性	合 計	男性	女性	合 計
2020年度	3	0	10	10	0	8	8
2021年度	1	0	6	6	0	7	7
2022年度	3	0	3	3	0	7	7
2023年度	4	0	4	4	0	5	5
2024年度	0	0	4	4	0	5	5

■ 短時間正職員制度

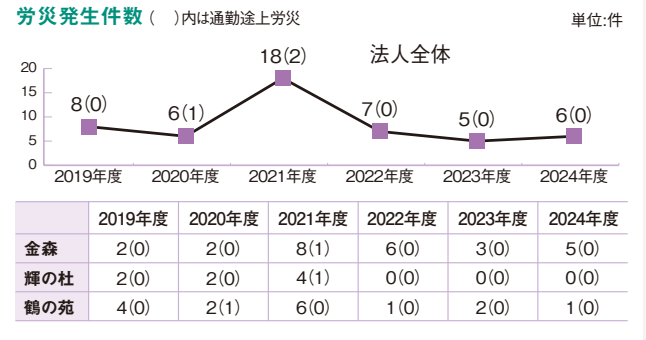
職員の柔軟な働き方を可能にするため、短時間正職員制度を設けています。週の労働時間を32時間まで短縮できます。これにより1日の労働時間の短縮や、休日を1日増やすことが可能となり、ライフ・ワーク・バランスが取りやすくなります。

■ 夜勤の特化

入居施設の夜勤は全て専従化し、日勤と夜勤を完全に別ローテーション化しています。これにより入居施設においても夜勤を義務化しない勤務を可能にしております。ワーク・バランスの実現に寄与しています。

職員の健康管理と安全衛生の向上

労働災害の防止および職員の健康の維持・増進を図ることを目的として、安全衛生に関する方針を定めています。また、環境整備チームを中心とした「5S活動」を通じて、職員が職場内における労働安全衛生上の課題と改善策を出し合い、日々安全な職場環境づくりを進めています。



■ 環境整備点検

環境整備チームによる環境整備点検を毎月実施し、「5S」への取り組みを進めています。他事業部の点検に加わることで、クロスファンクションによる課題と改善策の共有を図っています。

■ 健康管理の取り組み

健康診断はパートタイマーを含めた全職員に実施しており、40歳未満の希望者には、法定以上の検査をしています。メンタルヘルスチェックでストレス度が高いと確認された職員は、産業医との面談を通してサポートする体制を整えています。

■ 腰痛対策

腰痛対策として、腰痛予防体操を実施して腰痛防止を図っています。また楽ワザ介護の研修を通して身体の使い方の教育をおこない腰痛を防止しています。

■ 安全衛生

労災事故発生時は労災事故報告書で原因分析、再発防止に努めており、安全衛生対策部会では労災発生について検討し、未然防止に努めています。また、インフルエンザの予防策として、全職員に予防接種の実施、および同居家族に予防接種の費用補助をおこなっています。

■ 交通安全の推進

お客様の送迎など車両を使用する業務が多く、かつ通勤に車を使用する職員も多いため、「運転に関する方針」を定め、安全運転管理者を中心として交通ルールの遵守や運転マナーの徹底を含めたコンプライアンス教育を実施して事故ゼロを目指しています。

想いのカタチ 5

環境

基本的な考え方

合掌苑は、地域の中に存在し、地域環境を守ることに努めていかなければならないことを常に認識しています。

自然環境と調和した施設作り

庭園作りなど、地域環境と調和した施設作りをおこなっています。

地域のクリーン活動

地域とのつながりを大切に、し、通常業務としての施設周辺の清掃をおこなうこと以外に、各事業部において地域の清掃活動をおこなっています。

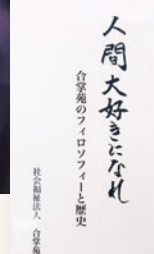
DATA

全事業部における地域清掃活動

2024年4月	25人	2024年10月	26人
2024年5月	21人	2024年11月	14人
2024年6月	21人	2024年12月	24人
2024年7月	24人	2025年 1月	23人
2024年8月	23人	2025年 2月	23人
2024年9月	19人	2025年 3月	16人
合計		259人	



毎日の理念浸透への取り組み
～ Commitment to Quality ～



フィロソフィー手帳

想いのカタチ 6

公正な事業慣行

基本的な考え方

すべての役員、職員等が国内外の法令および社内規定等を遵守のうえ、法人経営および業務遂行の適法かつ適正性の確保に努めます。またお客様をはじめ行政、取引先、地域社会の方々など皆様からの期待を真摯に受け止め、誠実に応えています。

■ 経営方針・フィロソフィー・行動基準

法令、フィロソフィー、倫理などの遵守を徹底し、公正・誠実な事業活動を推進するとともに、お客様の視点と立場を重視して事業活動をおこなうために、「顧客本位」「独自能力」「職員重視」「社会との調和」の4つの基本理念を柱とした経営方針を定めています。合掌苑フィロソフィーは合掌苑職員の行動規範・行動基準であり、フィロソフィーを職員が自分のものとするために毎日Commitment to Qualityを実施し、周知徹底を図っています。

コンプライアンス

■ 自主監査制度

全ての事業所でお客様のニーズに合わせた質の高いサービスを提供することができるよう業務マニュアルを作成し、またそれに基づいたサービスを提供していくための研修体制を整備しています。私たちは、この業務マニュアルに基づいたサービスが提供できているかを自分たちで振り返り、職員の人財育成に反映させ、それを通じてサービスの質を向上していくことができるよう、自主監査をおこなっています。自主監査は、職員から選出された自主監査人がいくつかのグループに分かれ、毎年全ての事業所が監査を受けるようにおこなっています。自主監査をおこない、職員同士がサービスの質について点検しあっていくことで、今後もさらにサービスの質を高めていくことを目指します。

公平・公正な取引の徹底

私たちは、合掌苑のサービスを支えてくださる協力会社やお取引先など、さまざまなビジネスパートナーとの信頼関係を大切にしながら、相互の価値向上を目指していきたくと考えています。契約にあたっては、経営計画書に「ビジネスパートナーに関する方針」を定め、関連法規を遵守した公正公平な取引の実現に努めています。すべての委託先、購買物品については、品質レベルを評価・確認し、1年毎に一括して契約の継続を検討しています。

想いのカタチ 7

消費者課題

基本的な考え方

合掌苑は、経営計画書の長期事業構想において『「新しい公共」を支える中心的な社会福祉法人として、フォーマル、インフォーマルを問わずに地域に貢献するサービスの充実に努める』と定め、サービスの質向上に努めるとともに、新たな視点によるサービス開発をおこなっています。

■ お客様の声を運営に活かすために

社会福祉事業の提供者は、「提供する福祉サービスについての苦情」の適切な解決に努めなければならないと社会福祉法第82条に定められています。「お客様の声」は、私たちにとって、そして福祉制度にとっても、サービスをより良くするために一番大切です。そのため、私たちはお客様が気軽にご意見やご要望、苦情などを話していただけるよう、普段から関係づくりに努めています。

■ お客様の声

私たちは、お客様からの苦情のみならず、希望、要望、お褒めの言葉を積極的に収集し、サービスの改善に役立てています。

■ スタッフストーリー

お客様からのお礼状、感謝の言葉について、組織風土チームが収集し毎日のCommitment to Qualityで皆に共有を図っています。

■ 福祉サービス第三者評価

養護老人ホーム及び特別養護老人ホームについては毎年、その他の事業についても概ね3年に一度福祉サービス第三者評価を受審し、自らのサービス水準の評価を受け、改善に努めています。

■ 利用者評価

かながわ福祉サービス振興会の利用者評価を毎年受けることにより、お客様の本音を知るとともに、サービスの改善に役立てています。

■ 地域包括ケアへの取り組み

地域包括ケアを支える地域の中核的施設として存在していくことを使命としています。

■ 総合相談窓口として

町田市内で高齢者支援センターを受託している法人として唯一障がい者支援センターを受託しています。高齢者のみならず、障がい者についての相談も受けることにより、総合相談窓口としての機能を果たしていきます。

■ 10の基本ケア・楽ワザ介護への取り組み

経営計画書に「お客様に関する方針」を定め、今後は病院からより早く退院し、自宅に戻ることを支援することが重要であると認識しています。ショートステイ、ホテルステイを利用して10の基本ケア・楽ワザ介護に



楽ワザ介護技術指導の様子

によるリハビリを実施し、失われた生活機能を再建することにより在宅復帰を果たしていきます。

そのために合掌苑では、オムツ、機械浴、誤嚥性肺炎の3つのゼロ目標を立て、生活再建委員会Aを中心にして10の基本ケア・楽ワザ介護への取り組みを進めています。

■ 認知症ケアへの取り組み

認知症ケアは認知症への理解が不可欠です。生活再建委員会Bを中心にして認知症を理解するためにライフストーリーブックの作成を進めています。また認知症ケア専門士の養成もおこなっています。

■ ターミナルケアへの取り組み

ターミナルケアを施設においてのみ実施することと位置付けせず、在宅サービスとの連動により地域で実施するものと位置付けています。そのために経営計画書に「合掌苑あんしんケアシステム」を定め、施設・在宅を問わずにターミナルケアの実践をしています。2021年8月より輝の杜はCUCホスピスと共同してホスピス事業を開始しております。

DATA

2024年度	平均年齢	平均要介護度	昨年度に比べ 増えたお客様の数	うち看取り数	看取り率
東雲寮	79.8	1.1	1	0	0.0%
桂寮	87.4	3.8	21	13	61.9%
翠の杜(ばたん)	86.1	2.1	12	0	0.0%
翠の杜(さざんか)	85.8	3.0	6	0	0.0%
金森訪問介護	83.3	2.4	11	3	27.3%
輝の杜AN	79.6	4.4	34	33	97.1%
輝の杜デイ	84.9	2.4	9	0	0.0%
輝の杜訪問介護	82.5	2.4	5	0	0.0%
鶴の苑AN	91.0	2.7	13	11	84.6%
鶴の苑SCC	87.5	3.3	5	3	60.0%
鶴のさとデイ(半日型)	85.7	1.7	6	0	0.0%
法人全体			123	63	51.2%
(うち入居施設)			74	60	81.1%
(うち在宅施設)			49	3	6.1%

コミュニティへの参画 及びコミュニティの発展

基本的な考え方

- (1) 社会福祉法人の事業すべてが公共であることを意識し、原理・原則に則った事業運営をおこないます。
- (2) 「新しい公共」の中心的担い手であることを意識し、行政に定められた事業に加え、行政、地域社会、企業等と連携することにより法人の独自性を発揮し、地域社会へのさらなる貢献を目指します。

地域社会への貢献

■ 地域福祉支援積立金

経常収支差額の25%を地域福祉支援積立金に計上し、地域への社会貢献に支出しました。

【支出する社会貢献事業】

(1) 地域に役立つ事業への支出	
・ プリス金森台へ入居する生活困窮者への家賃補助	4,288,020円
・ ユニバーサル就労対象者の賃金の財源	5,210,494円
・ 南成瀬あんしんサロンの運営費	184,905円
(2) 地域の団体等への助成	
・ 自助活動団体への助成	800,000円
合 計	10,483,419円

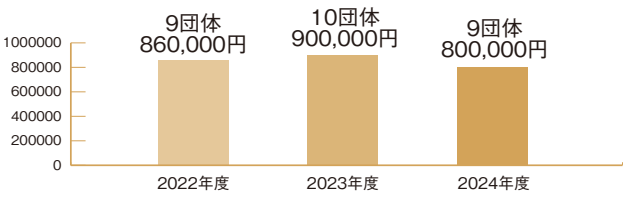
業界への貢献

合掌苑は、自分たちだけが向上するのではなく、地域の業界全体が向上することに貢献することが使命であると認識しています。

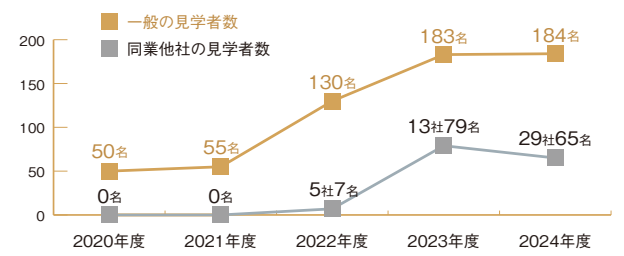
そのために、法人で実施するセミナー、研修会、会議を外部に開放しています。また外部での講演、パブリシティなどにより法人の試みを外部に発信しています。

DATA

■ 地域福祉支援積立金 自助活動団体への助成



■ 見学者数



■ パブリシティ

掲載・放映日	媒体	内容
2024/6/1	厚生労働	外国人労働者に対する雇用者の取り組み
2024/10/23	時事ドットコム	定年制を廃止した企業の取り組み
2025/3/19	高齢者住宅新聞	社会福祉法人の経営に取り巻く環境変化
2025/3/21	日経ヘルスケア	介護報酬改定に伴う処遇改善・賃上げ

■ 中国介護・医療幹部集中トレーニングコース

実施日	参加者数	参加者内訳
2024/4/13	3名	介護・医療関係者・管理者層
2024/7/22,23,24,25	10名	介護・医療関係者・管理者層
2024/9/5,6,7,8	8名	介護・医療関係者・管理者層
2024/9/29,30	7名	介護・医療関係者・管理者層
2024/11/28	6名	介護・医療関係者・管理者層
2025/3/15	15名	介護・医療関係者・管理者層
計	49名	

■ 中国団体見学者

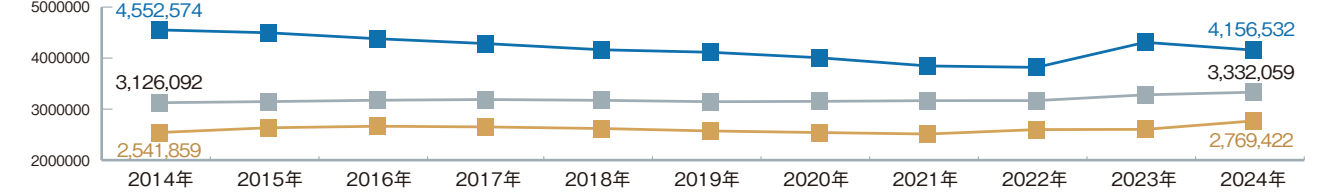
実施年度	参加者数	参加者内訳
2018	87名	介護・医療関係者
2019	197名	介護・医療関係者
2020～22	コロナ禍にて中止	
2023	70名	介護・医療関係者
2024	80名	介護・医療関係者

■ 理事長の内部外部での講演活動

実施日	主催者	テーマ
2024/4/13	中国トレーニング講演	理念浸透・働きやすい組織作り
2024/6/13	みんなの福祉村	合掌苑の取り組みについて
2024/7/18	あいケアステーション	理念浸透・人を大切にする組織作り
2024/7/26	社会福祉法人博由社	合掌苑の取り組み
2024/7/29	愛知・名古屋福祉ネットワーク	シングルマザーや元受刑者の方々を労働人材とする機会創出について
2024/9/6	中国トレーニング講演	理念浸透・働きやすい組織作り
2024/11/28	中国トレーニング講演	理念浸透・働きやすい組織作り
2025/1/29	社会福祉法人静岡県社会福祉協議会	離職率低下と人材採用の取り組み
2025/3/15	中国トレーニング講演	理念浸透・働きやすい組織作り

財務ハイライト

■ 財務活動



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
サービス活動収入	2,541,859	2,634,660	2,664,476	2,651,197	2,619,822	2,572,036	2,541,074	2,512,046	2,599,108	2,602,774	2,769,422
サービス活動増減差額	9,892	50,661	54,322	34,093	8,780	-980	8,709	26,114	17,789	16,660	68,225
経常活動増減差額	17,357	63,863	62,719	49,916	21,283	7,985	39,110	42,491	30,483	30,139	82,893
当期活動増減差額	15,091	58,531	62,784	50,229	19,791	8,209	36,400	42,590	30,472	27,739	82,893
総資産	4,552,574	4,496,851	4,380,276	4,285,041	4,163,422	4,114,772	4,007,647	3,867,196	3,818,756	4,309,319	4,156,532
純資産	3,126,092	3,147,564	3,174,276	3,188,345	3,172,422	3,145,581	3,152,345	3,166,335	3,167,098	3,280,155	3,332,059

■ ケアプラン作成数



アメーバ経営の実績

■ S0001 社会福祉法人合掌苑

科 目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
総サービス提供高	661,070,023	682,036,603	701,398,232	715,868,840	2,760,373,698
経費合計	240,884,489	252,425,697	253,222,806	240,539,050	987,072,042
差引収益	420,185,534	429,610,906	448,175,426	475,329,790	1,773,301,656
総労働時間	175,844.10	171,574.76	174,589.53	168,278.75	690,287.14
時間当り	2,389.53	2,503.93	2,567.02	2,824.66	2,568.93

■ S1000 営業本部

科 目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
総サービス提供高	4,722,845	7,848,091	5,276,065	4,775,669	22,622,670
経費合計	2,532,659	2,857,838	1,182,524	2,166,516	8,739,537
差引収益	2,190,186	4,990,253	4,093,541	2,609,153	13,883,133
総労働時間	582.00	534.75	541.00	609.50	2,267.25
時間当り	3,763.21	9,331.94	7,566.62	4,280.81	6,123.34

■ S2000 金森事業部

科 目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
総サービス提供高	314,039,786	319,267,519	325,587,544	331,313,046	1,290,207,895
経費合計	107,676,773	109,952,124	112,542,631	107,008,584	437,180,112
差引収益	206,363,013	209,315,395	213,044,913	224,304,462	853,027,783
総労働時間	85,782.45	83,838.34	86,556.46	83,678.93	339,856.18
時間当り	2,405.66	2,496.65	2,461.34	2,680.54	2,509.97

■ 時間当たり採算

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
S0001 社会福祉法人合掌苑	2,870.00	2,781.00	2,722.00	2,768.30	2,352.10	2,458.65	2,386.42	2,449.56	2,568.93
S1000 営業本部	2,843.60	3,160.70	3,116.60	3,597.20	2,504.20	2,866.92	4,115.43	5,081.71	6,123.34
S2000 金森事業部	2,735.80	2,691.70	2,711.20	2,851.40	2,446.20	2,495.36	2,382.78	2,441.08	2,509.97
S3000 輝の杜事業部	2,668.50	2,593.30	2,528.50	2,572.10	2,241.70	2,659.19	2,751.11	2,839.82	2,939.03
S4000 鶴の苑事業部	3,130.80	3,104.30	2,961.20	2,671.20	2,102.60	2,145.32	2,036.84	2,151.38	2,322.21
S0200 本部機構合計	3,494.10	2,760.20	2,424.40	2,870.00	3,262.50	3,068.43	2,804.63	2,486.43	2,875.08

■ 利用定員数

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
入居施設	262	262	262	262	262	262	262	262	262	262	262
東雲寮	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
桂寮	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80	80
輝の杜	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
鶴の苑(住宅)	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
鶴の苑(特定)	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82
在宅サービス	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202	202
桂寮(ショート)	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
翠の杜(一般)	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55
翠の杜(認知)	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
デイ輝の杜	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	30
デイ鶴のさと	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	18
わさびだ療育園	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20

単位:千円

■ S3000 輝の杜事業部

科 目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
総サービス提供高	129,363,663	135,372,227	136,140,309	126,910,733	527,786,932
経費合計	41,089,754	41,549,614	42,524,753	39,700,765	164,864,886
差引収益	88,273,909	93,822,613	93,615,556	87,209,968	362,922,046
総労働時間	31,807.90	31,408.56	30,852.78	29,414.34	123,483.58
時間当り	2,775.22	2,987.17	3,034.27	2,964.88	2,939.03

■ S4000 鶴の苑事業部

科 目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
総サービス提供高	212,469,018	219,754,724	227,420,119	222,188,352	881,832,213
経費合計	111,237,503	117,184,883	112,023,820	110,840,974	451,287,180
差引収益	101,231,515	102,569,841	115,396,299	111,347,378	430,545,033
総労働時間	47,431.96	46,222.88	46,473.38	45,275.26	185,403.48
時間当り	2,134.25	2,219.03	2,483.06	2,459.34	2,322.21

■ S0200 本部機構合計

科 目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
総サービス提供高	4,482,006	4,803,213	11,214,510	35,073,309	55,573,038
経費合計	-17,644,905	-14,109,591	-10,810,607	-14,785,520	-57,350,623
差引収益	22,126,911	18,912,804	22,025,117	49,858,829	112,923,661
総労働時間	10,239.79	9,570.23	10,165.91	9,300.72	39,276.65
時間当り	2,160.88	1,976.21	2,166.57	5,360.75	2,875.08

価値創造の木

私たちの想いは、
目には見えないところから育っていきます。
理念や歴史、そして日々の小さなふるまいが、
根や幹となり、
枝葉や果実となって広がっていく。
「価値創造の木」は、
その想いがどのようにカタチに
なっていくのかを示すものです。

「価値創造の木」は、合掌苑が大切にしてきた理念を土台に、仕組みや活動が積み重なり、社会的な価値へと実を結ぶプロセスを表しています。根や幹といった目に見えにくい部分がしっかり育まれることで、枝葉や果実という成果が広がり、人々の幸せや地域からの信頼につながります。つまり、この木は単なる比喻ではなく、合掌苑の歩みそのものを象徴しています。私たちはこれからも根を深め、枝を広げ、実りを分かち合うことで、新しい価値を生み出し続けていきます。

さらなる
お客様サービスの向上

地域からの
信頼

人財・
職場環境・
福利厚生・共育へ
の再投資

お客様の
生きる意欲の
向上

職員のやりがい・
働きがいアップ

情報環境整備

ソロバン：
必要利益の確保
アメーバ経営

ロマン：
お客様の生きる意欲の向上
10の基本ケア
楽ワザ介護

土壌を豊かにする「2つの肥料」

創業の物語
(存在意義を示す)

理念を語り続ける
経営者の情熱

「根」=人間力

物的環境整備
4S(整理・整頓・清掃・清潔)と
5T(定位置・定量・定方向・表示・標識)に基づき、
思いやりの心を育む

人的環境整備
理念浸透、コミュニケーション、
躰(礼儀・マナー)・チームワーク、
共同体意識の醸成

④果実 — 社会的価値

最終的に実る果実は、事業を継続する為の、
社会や顧客にとっての価値です。
喜ばれ、信頼されることで次の種となり、
新たな循環を生み出します。
「価値創造の木」は未来へと続く
成長のサイクルを象徴しています。

③花 — 成果

枝は具体的な事業や活動の広がり、
花はその先に咲く成果です。
深い根と太い幹に支えられてこそ大きな花が咲きます。
多様な花が咲くことで、
多様な価値を社会に届けることができます。
そこで働く人のやりがいや、
お客様の笑顔が日々の実りとなります。

②幹 — 仕組み

幹は組織の仕組みや構造を表し、
枝葉を支える大黒柱です。
太く強い幹でなければ、
事業は安定して伸びていきません。
情報や制度の整備が、未来を育む力となります。

①根 — 人間力

理念や使命からつくられる力が「根」となります。
組織風土からなる豊かな土壌が深い根を育みます。
深く広く根を張ることが成長の条件です。
見えない根がしっかりしてこそ、
木は揺るがずに伸びていきます。

やがて新たな「種」となり、次の価値創造サイクルが始まる

これからも、「想い」を大切に、新しい価値を育て続けます。